

令和 2 年度シャープシューティング体制によるヤクシカ計画捕獲結果

1. 令和 2 年度のシャープシューティングの体制によるヤクシカ捕獲の実施目的

3 年間の試験捕獲で構築したシャープシューティング（以下、SS）体制によるヤクシカの捕獲を実施する。

- ① 屋久島での林道等において SS 体制による持続可能な実施体制を構築する。
- ② 安全が確保され実行可能な実施スケジュールや規模で実施する。
- ③ 誘引状況に応じた捕獲実績を得る。

2. 実施期間

令和 2 年 10 月～令和 2 年 11 月

誘引作業 令和 2 年 10 月 15 日 ～令和 2 年 11 月 29 日(事前準備：令和 2 年 9 月頃から)
※捕獲の 4 週間程度前から実施

捕獲実施 1 回目： 令和 2 年 11 月 14 日～11 月 15 日
2 回目： 令和 2 年 11 月 21 日～11 月 22 日

3. 実施場所

以下の 2 箇所のうち、捕獲メンバー及びアドバイザーや誘引状況から決定。

- ①小楊子林道栗生支線（黒味林道）：照葉樹林とスギ植林の混合。
- ②小楊子林道 24 支線：照葉樹林とスギ植林の混合。一部国立公園第 3 種特別地域

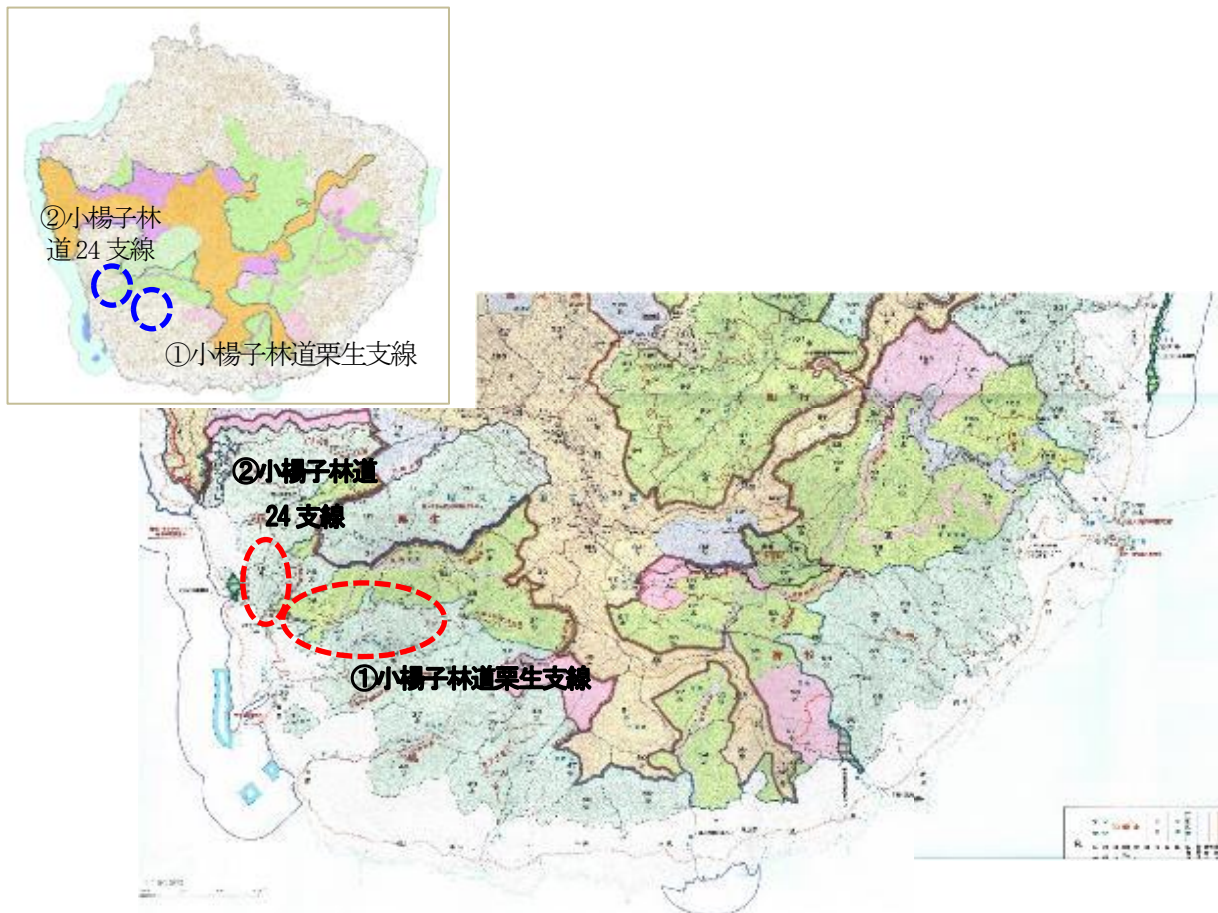
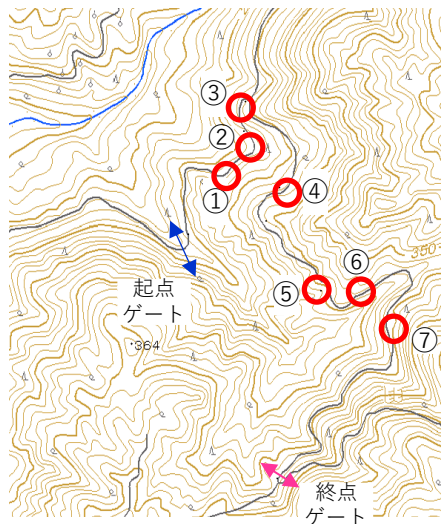


図 1 実施林道位置図



小楊子林道栗生支線(黒味林道)



小楊子林道 24 支線 (○：誘引地点)

図 2: 誘引実施箇所

4. R2 年度捕獲結果 (11/14～22 射手：獺友会有志)

日付	時間	実施林道	遭遇群 れ数	射撃群 れ数	捕獲 頭数	発砲 数	群れ全 体捕獲 件数	群れ全体捕獲件 数/ 射撃群れ数 (全滅率)	射撃群れ数 / 遭遇群れ数 (射撃率)	捕獲頭数 / 発砲数 (成功 率)	備考
11/14	11:20 ~14:40	小楊子林道 栗生支線	5	3	6	7	3	100%	60%	85.7%~	捕獲：⑦4頭、④1頭 ①1頭 (他、②メス1頭、 ③オス・メス各1頭 確認)
11/15	9:50 ~14:30	小楊子林道 24 支線	1	1	1	1	1	100%	100%	100%	捕獲：⑤1 頭
11/21	12:00 ~15:50	小楊子林道 栗生支線	2	2	2	2	1	50%	100%	100%	9:00~11:00 まで獺 犬が侵入。 捕獲：⑦1 頭、①1 頭 (2 群れ4 頭のうち1 頭のみの捕獲)
11/22	9:00 ~11:35	小楊子林道 24 支線	1	1	1	1	1	100%	100%	100%	捕獲：⑤1 頭
11/22	14:00 ~15:10	小楊子林道 栗生支線	1	0	0	0	0	0%	0%	0%	⑥メス1 頭確認
合計			10	7	10	11	6	85.7%	70%	90.9%	

小楊子林道栗生支線は、今年度、初めて実施した。捕獲作業後も複数の個体が誘引されており、教育されたシカを増加させていないと考えられた。また、小楊子林道 24 支線は、過年度に引き続き実施した。昨年度、捕獲実績が無かったが、今年度は 2 頭捕獲できた。過年度実績と比較しても、全滅率は向上しており（参考参照）、従事者の技術や SS 体制全体の技能が向上していると考えられる。

ただし、近隣での有害捕獲や森林施業など、関係機関との日程調整、情報共有について一部課題が残った。今後、安全管理や教育されたシカの発生防止を念頭に、関係機関との調整、作業労力を抑えることや捕獲効率の向上に各種方策を検討したい。

5. 捕獲個体詳細

捕獲個体番号	n-1	n-2	n-3	n-4	n-5	n-6	n-7	n-8	k-1	k-2
捕獲個体ラベル	7-1	7-2	7-3	7-4	4-1	1-1	1-1	7-1	5-1	5-1
捕獲日	11/14	11/14	11/14	11/14	11/14	11/14	11/21	11/21	11/15	11/22
捕獲林道	小楊子林道栗生支線								小楊子林道 24 支線	
誘引地点	7	7	7	7	4	1	1	7	5	5
被弾状況	頭部貫通	頭部貫通	頭部貫通	頭部	頭部	頭部	頭部貫通	頭部貫通	頭部	頭部
性別	オス	オス	メス	オス	オス	オス	オス	オス	メス	メス
推定年齢	0-1 歳	3 歳以上	2.5 歳以上	1.5 歳	2.5 歳以上	2.5 歳	1.5 歳	0-1 歳	2.5 歳	3 歳以上
体重(kg)	9.5	26	22.5	15.5	24.5	23.5	17	7	19.5	24
体長(cm)	50	73	67	60	71	73	62	50	67	70
体高(cm)	45	58	60	56	63	60	60	47	50	61
胸囲(cm)	53	72	65	54	70	60	55	46	62	66
後足長(左/右 cm)	19/20	21/21	22/23	26/24	25/25	25/25	23/23	18/19.5	21/22	23/23
後足長つま先まで	26/27	29/28	30/30	30/28	32/32	30/30	30/30	24/25	28/29	31/31
枝分(左/右)	無	2/2	-	0/0	2/2	0/0	0/0	無	-	-
角長(左/右 cm)	無	22/22	-	30/28	21/22	11/13	0.8/1	無	-	-
妊娠の有無等	-	-	有	-	-	-	-	-	無	有

※参考：今年度の評価について（R2 年度シャープシューティング実施計画書より）

捕獲の終了後、関係機関および本事業アドバイザーによりシカの反応、捕獲技術や実施体制等についての結果、成果と課題、次年度以降の改善点なども含め、SS 体制によるヤクシカ計画捕獲手法の適性、継続性について、加えてアニマルウェルフェアの達成度を評価する。なお、評価にあたっては捕獲数の多寡は考慮しないこととする。また、今年度の捕獲に対する評価は、教育されたシカを発生させないことを主眼に置き、全滅率（＝全頭捕獲群れ数 / 射撃群れ数）を用いる。

6. 評価

（1）SS 体制によるヤクシカ計画捕獲手法の適性・継続性

これまで、屋久島における SS 体制による計画捕獲は、林道上の流し猟形式で行ってきた。誘引に掛かる労力に課題は残るが、SS 体制による捕獲は、関係行政機関と連携しながら捕獲場所の選定や実施時期を調整することが可能な手法である。今後、過年度に実施した安房林道等の中高標高域も含めた国立公園区域内に係る範囲での実施を検討していきたい。

また、SS 体制の継続性は、猟友会有志を中心に技能の向上も見られるため、引き続き現場作業を通じて人材を育成したいと考える。

（2）アニマルウェルフェアの達成度

成功率（捕獲頭数/発砲数）は 90%以上であり、ほとんどの捕獲個体を 1 回の狙撃で捕殺しているため、個体に対するストレス負荷は小さかったと考えられる。

（3）全滅率（群れ全体捕獲件数/射撃群れ数）

射撃群れ数（7 群れ）に対して群れ全体捕獲件数は、6 群れだった。過年度と比較すると、全滅率は向上しており、これまでの試験捕獲による体制構築と技能の向上に起因していると考えられる。

※参考：過年度の結果

○H29 年度捕獲結果（射手：鈴木氏（岐阜大教授））

日付	時間	実施林道	遭遇群 れ数	射撃群 れ数	捕獲 頭数	発砲 数	群れ全 体捕獲 件数	群れ全体捕獲件 数/ 射撃群れ数 (全滅率)	射撃群れ数 / 遭遇群れ数 (射撃率)	捕獲頭数 / 発砲数 (成功 率)	備考
12/22	10:00 -10:20	小楊子林道 24 支線	1	1	1	1	1	100%	100%	100%	♂ 1 頭捕獲
12/23	13:30 -14:13	安房林道 63 支線	1	1	2	2	1	100%	100%	100%	♀ 1 頭、♂ 1 頭捕獲
12/24	10:20 -10:45	小楊子林道 24 支線	3	2	3	3	1	50%	66%	100%	♀ 2 頭、♂ 1 頭捕獲 ♀ 2、♂ 1 頭頭見送
合計			5	4	6	6	3	75%	80%	100%	

○H30 年度捕獲結果（12/6～8 射手：鈴木氏（岐阜大教授）、12/18～20 射手：猟友会有志）

日付	時間	実施林道	遭遇群 れ数	射撃群 れ数	捕獲 頭数	発砲 数	群れ全 体捕獲 件数	群れ全体捕獲件 数/ 射撃群れ数 (全滅率)	射撃群れ数 / 遭遇群れ数 (射撃率)	捕獲頭数 / 発砲数 (成功 率)	備考
12/6	10:30 -11:52	小楊子林道 24 支線	3	1	1	3	0	0%	33%	33%	♀ 1 頭捕獲、♀ 1 頭見 送、♀ 1 頭逃走
12/7	13:30 -14:40	安房林道 63 支線	0	0	0	0	0	-	-	-	
12/8	10:14 -11:50	小楊子林道 24 支線	3	3	8	8	3	100%	100%	100%	♀ 6 頭、♂ 2 頭捕獲、
12/18	10:08 -11:14	小楊子林道 24 支線	0	0	0	0	0	-	-	-	
12/19	12:40 -14:02	安房林道 63 支線	0	0	0	0	0	-	-	-	
12/20	10:17 -11:43	小楊子林道 24 支線	2	2	2	3	1	50%	100%	67%	♀ 1 頭、♂ 1 頭捕獲 ♀ 1 頭逃走
合計			8	6	11	14	4	67%	75%	79%	

○R1 年度捕獲結果（1/11～12、18～19 射手：猟友会有志）

日付	時間	実施林道	遭遇群 れ数	射撃群 れ数	捕獲 頭数	発砲 数	群れ全 体捕獲 件数	群れ全体捕獲件 数/ 射撃群れ数 (全滅率)	射撃群れ数 / 遭遇群れ数 (射撃率)	捕獲頭数 / 発砲数 (成功 率)	備考
1/11	14:30 -16:00	小楊子林道 24 支線	0	0	0	0	0	-	-	-	
1/12	9:15 -10:20	鍋山林道	0	0	0	0	0	-	-	-	
1/18	15:30 -17:00	小楊子林道 24 支線	1	1	0	1	0	0%	0%	0%	♀ 1 頭逃走 ♀ 1 命中で未回収
1/19	15:30 -17:10	小楊子林道 24 支線	0	0	0	0	0	-	-	-	
合計			1	1	0	1	0	0%	0%	0%	

○試験捕獲 3 年間捕獲結果（射手：鈴木氏・猟友会有志）

日数	年度	実施林道	遭遇群 れ数	射撃群 れ数	捕獲 頭数	発砲 数	群れ全 体捕獲 件数	群れ全体捕獲件 数/ 射撃群れ数 (全滅率)	射撃群れ数 / 遭遇群れ数 (射撃率)	捕獲頭数 / 発砲数 (成功 率)	備考
9 日間	H29 -R1	小楊子林道 24 支線	13	10	15	19	6	60%	77%	79%-	
3 日間	H29 -H30	安房林道 63 支線	1	1	2	2	1	100%	100%	100%	
1 日間	R1	鍋山林道	0	0	0	0	0	-	-	-	
合計			14	11	17	21	7	58%	0%	0%	